



## 編集雑記

## 既刊案内 (特集・主要記事)

### [4月号]

◎**緊急連載**「能登半島地震 被災状況と復興への方向」(3) 珠洲市の被災現地に行く②発生から3か月 浄水機能は復活したが…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎**シリーズ** 次代を担う衛生・環境工学者 NO. 89 東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 准教授 飛野智宏氏を訪ねて 活性汚泥の「クオラムセンシング」(微生物の情報伝達機構)解明に取り組む昔の夢をAI技術でかなえる…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎循環型社会の構築へ下水汚泥の最大限の肥料利用に向けたマニュアルを公開!～下水汚泥資源の肥料利用に関する検討手順書を公開しました～国土交通省 ◎業務用建築物の脱炭素改修加速化事業(脱炭素ビルリノベーション事業)の公募要領及び補助対象製品の型番の公開について…環境省 ◎再生水援の総合的対策を策定しました…経済産業省 ◎第26 回日本水大賞の各賞を決定～水循環の健全化に貢献する様々な活動から特に優れたものを表彰～国土交通省 ◎「ダムを見に行こう」春号2024～出会いと別れの季節をダムとともに～国土交通省 ◎水循環教材の活用事例集 小寺川・川の資料館編…内閣官房 水循環政策本部事務局 ◎九都府市が連携して身の回りでできる豪雨対策の広報に取り組んでいます!…東京都 都市整備局 ◎建設業の人材確保・育成に向けた取組を進めていきます～国土交通省・厚生労働省の令和6年度予算案の概要～国土交通省 ◎**能登半島地震** 断水解消支援強化能登地方3月末に9割強へ…月刊コア編集部 ◎**明日への道標** 特撮は貧乏から生まれた—円谷英二 ゴジラの覚醒—(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎**東京見て歩き**(123) 生まれ変わった二子玉川駅界限(二子玉川ライズ)…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎**特別連載** 平成を偲ぶパロディ狂歌集(60)—平成一人百首 税務行政3(全3首)…弁護士 野平大魚 ◎**建築着工統計** [2024年1月]…国土交通省 ◎エッセイ 西村修一、新田純子

### [5月号]

◎**特別座談会** 命の水を守る管工事業界 能登半島地震で支援東管協組が復旧活動…月刊コア編集部 ◎**緊急連載** 能登半島地震 被災状況と復興への方向(4)UF膜を用いた非常災害用浄水装置に関する支援 水道機工(株)取締役水処理事業本部長 鷹栖茂幸に聞く…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎**シリーズ** 次代を担う衛生・環境工学者 NO. 90 神奈川大学 化学生命学部 応用化学科 環境鑑識学研究室 准教授 中田典秀氏を訪ねて 生理活性物質による環境モニタリングと流域評価…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎「流域治水(りゅういきちすい)」ロゴマークを決定しました～流域のみんなが水害対策に取り組むきっかけに…国土交通省 ◎令和4年度における浄化槽の設置状況等について…環境省 ◎河川上空を活用したドローン物流の考え方を公表します～「ドローン物流における河川上空の活用円滑化に向けた基本的考え方」～国土交通省 ◎令和4年度オゾン層等の監視結果に関する年次報告書について…環境省 ◎令和6年能登半島地震による災害に関して被災中小企業・小規模事業者支援措置を行います…経済産業省 ◎公共交通機関におけるバリアフリー化の状況を公表～令和4年度 移動等円滑化に関する実績の集計結果概要～国土交通省 ◎令和6年度「全国安全週間」を7月に実施～令和6年度のスローガンを決定～厚生労働省 ◎令和5年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」入賞作品決定～国土交通大臣賞4点、国土交通事務次官賞60点…国土交通省 ◎東京都水道局 環境報告書2023を発行!…東京都水道局 ◎令和4年 全国屋上・壁面緑化施工実績の調査結果について…国土交通省 ◎**明日への道標** 共感による経済活動を—真実のAdapterManager—(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎**東京見て歩き**(124) 開業した麻布台ヒルズ…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎**特別連載** 平成を偲ぶパロディ狂歌集(61)—平成一人百首 食1(全7首)…弁護士 野平大魚 ◎**建築着工統計** [2024年2月]…国土交通省 ◎エッセイ 西村修一、新田純子

イスラエルのパレスチナ・ガザ地区侵攻に反対する学生運動が全米に波及している。コロンビア大学のキャンパスで誕生したガザ連帯キャンプに大学当局は警官隊を導入し、暴力的に排除した。学生たちの怒りはさらに高まり、4月末から5月初旬にかけて2600人以上が逮捕されている。

卒業式が中止されたコロンビア大学は社会の不正義に抗議する学生たちの歴史的拠点となってきた。1970年に公開された映画『いちご白書』はベトナム反戦運動に参加した学生たちの実話に基づいている。いちごとは大学側が未熟と見下した学生たちの象徴だ。校舎に籠城したいちごたちは警棒と催涙弾の嵐を浴びながら抵抗していく。

世界を揺り動かしたスチューデント・パワーは日本でも爆発した。自決した作家の三島由紀夫は東大全共闘の学生たちとの討論集会に臨んでこう語っている。「私は諸君の熱情を信じます。これだけは信じます。ほかのものはいっさい信じないとしても、これだけは信じるということはわかっていただきたい」。思想的には対極にある三島が共振した学生たちの感性をわたしも信じている。

革命を夢見た学生運動が冬の時代を迎えた頃、荒井由実＝松任谷由実は「いちご白書をもう一度」を作詞・作曲した。「過ぎ去った昔が あざやかによみがえる 君もみるだろうか いちご白書を」というフレーズをわたしは想い出す。遙か彼方へ失われた青春の日々は二度と戻ってこない。だが未来に生きる学生たちは『いちご白書』を知らなくても新たな扉を開こうとしている。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第415号

令和6年6月10日発行 定価1,000円(税別)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884